

# ほのぼの苑だより

題字：畠山 鈴江 様



鯉とお戯れ  
『天王グリーンランドにて』



月山神社祭り

五月四日と五日は、大久保月山神社のお祭りがありました。四日の天気はよかったです。風が強い日となりました。私たち職員は、入苑者の方々と一緒に出店を見て回りました。途中、食べ物や飲み物、アイスを購入したり、お祭りの思い出話をしながら、ゆつくりと歩いてお祭りを満喫していました。

五日の日はあいにくな空模様で、当初は午前と午後に分けて、散策する予定でしたが、午前だけの外出となりました。しかし、お昼には大久保駅前町内会の子供御輿や月山神社の本御輿が来苑してくださり、お祭りの雰囲気も多くの入苑者の方に楽しんでいただけたと思います。午後からは外出できなかった分、カラオケ大会を開催し、楽しい時間を過ごされたようでした。

私自身、初めての野外レクリエーションに参加し、緊張しましたが、有意義な二日間となりました。

(鎗目 節子 記)



デイケア 五月誕生会

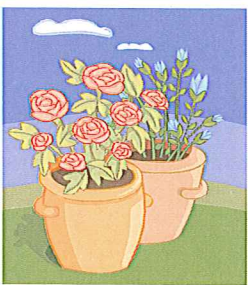
今回の誕生会ではゲームや外出とは違い、通苑者の方が自分の手で作業し、形あるものを残したいという考えから花を植える事にしました。

誕生会当日の五月十七日は天候にも恵まれ、ほのぼの苑の中庭で行うことが出来ました。一人一人に苗を選んでもらって、プランターに植えたのですが、懐かしさを覚える方や、『いつも、やっっているもの』と慣れた手つきでされている方、また初めての方もいて、様々な思いを抱きながら夢中になって作業されていました。

植えられた花を見て満足そうに、「これから楽しみだね。」と口をそろえて皆さんおっしゃっておいりました。

自分たちで植えた花が成長していくのを、これからの通苑者の方々と共に見守っていきたくと思っています。デイケアに通苑する楽しみの一つにしてもらえたら幸いです。

(渡部 広大 記)





# ほのぼの苑 ちよつとイイ話

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」  
は、苑内での感動する話をご紹介します。  
するコーナーです。

## ちよつとイイ話

～五月の日誌・日記より～

五月十四日（水）

今日はある入苑者の方が落ち着かない入苑者の方に声をかけて落ち着かせていました。私たちが声をかけても泣いて落ち着きがなかったのですが、その入苑者の方が話しかけるとすぐに泣きやみました。食事の席もその二人は隣同士の為、その方の隣では安心していられるのかなと入苑者同士の繋がりの強さを感じました。



五月十九日（金）

今日は避難訓練が行われ、入苑者の方には前もって話しておりましたが、火災を知らせるサイレンになると「怖い」などと話す方や慌てて逃げようとする入苑者の方もいて、実際の災害時も職員が慌てず、状況を把握しながら行わないといけないと思います。



五月二十一日（水）

ほぼ毎日、夕食前にお口の体操が行われています。このお口の体操を楽しみにしていらっしゃる入苑者の方がおり、その日教わった内容を戻ってきてから実演してくださいます。職員が声をかけると少し恥ずかしながらも、嬉しそうに、楽しそうに話してください。周りの入苑者の方も職員も笑顔になります。日々の生活の中で楽しみがあるというのは、大切なことだと感じました。

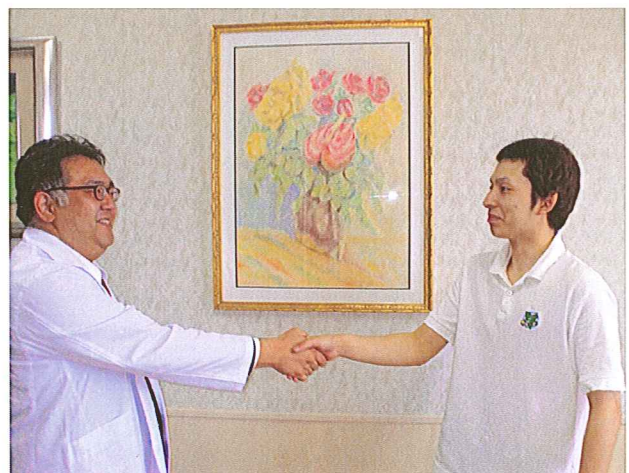
五月二十二日（木）

学生の実習生の方が入苑者の方と長い時間一緒に過ごしていました。私たちは業務に追われて、一対一で向き合う時間が少ないのですが、今日は実習生の方との時間が楽しかったようで表情も良く見えました。まとまった時間は無理でもそれぞれの方たちと分かり合えるような交流を持つていかなければと考えさせられました。



五月二十五日（日）

今日は五月の誕生会があり、天王までのドライブを入苑者の方々が楽しまれました。入苑者の方に、五月の何日が誕生日ですかと聞く、「十二日です。」とはっきり答えていました。「おめでとうございませう。」と話すと、嬉しそうに「恥ずかしい」と笑っている姿を見て、いくつになっても自分の生まれた日を祝われると嬉しいんだなど改めて思いました。





### 第二十四回 家族会 議事録

第二十四回 家族会は、平成二十年五月十九日(月)午後一時二十分より、避難訓練と合同で行われました。ほのぼの苑だよりの誌面にて写真を掲載し、避難訓練の雰囲気をお伝えしたいと思います。六月の家族会は、六月十四日午後二時三十分より行われた「小野バレエ団によるバレエ舞踏」と合同で行いました。当日の様子につきましては、次号のほのぼの苑だよりの誌面に写真を掲載致します。



### 幸福

私が現在の職業を決めたのは、「手に職を持ちたい」とか、「白衣の天使に憧れて」とかではなく、不規則な生活がしたかったからです。

学生時代、友達と遊んだり、部活で汗を流したりするのは大好きでしたが、勉強は正直苦手で授業で長時間机に向かい座っているのが苦痛だったので、体を動かさせ、毎日変化のある仕事に就きたいと考え、看護師になる事を目指しました。動機がかなり不純なので、時々周りの人から「不規則な生活でたいへんな仕事だね。」と言われると少しくすぐったい様な感じにもなります。

夜勤では、何も起きないようにと祈りながら、早く朝になるのを待っています。日勤者が仕事を始める頃には睡眠不足も関係なく、「今日は何をしようかな。」と考えたり、少し優越感に浸りながら、嬉しい気分になります。

年齢を増し、だんだん体力的にはきつく感じる時もありますが、精神的にはとても充実した仕事につけたと幸せに思います。

### ボツリと一言

六月十四日の午前中にほのぼの苑だよりの編集作業を行っていましたが、その最中に岩手・宮城内陸地震が発生しました。

潟上市では、震度4だった為、大きな被害はありませんでしたが、震源地近くでは亡くなった方もおり、連日報道される地震の映像に改めて天災の恐ろしさを感じました。

私自身が体験した大きな地震は昭和五十八年の日本海中部地震が最大で、当時小学生でしたが、地震の揺れよりも、教職員同士が大声を出し合って走っている姿から緊張感が伝わってきて、異様な雰囲気でしたように記憶しています。

そのような体験から、入苑者の皆さんの不安を取り除くことが出来るよう、適切な声かけが出来ていたのかと思うところもあります。落ち着いた対応や行動は出来ていたのではないかと思えます。これを機会に災害対策物品等の再確認を行い、災害に対して万全を期したいと思えます。

### 発行

医療法人 正和会  
介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401  
秋田県潟上市昭和久保字街道下 92-1  
電話 018-877-7115  
FAX 018-877-7481

ホームページ  
<http://www.seiwakai-akita-no1.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小林 顕